

分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書(案)に関する説明会 議事録

1 日 時：平成30年7月18日（水）午後7時～8時35分

2 場 所：片町文化センター3階講堂

3 出席者：地元 35名（協議会会員含め50名）

都市整備部地区整備課 職員3名

分倍河原共栄会 5名

片町二丁目自治会 3名

美好町3丁目自治会 2名

片町三和会 1名

分梅第一自治会 1名

分梅高倉自治会 1名

(株)ジオ・アカマツ 1名

NREG東芝不動産(株) 1名

コンサルタント 3名

4 資 料：次第

分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（案）に関する説明会PPT冊子

分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（案）

5 内 容

(1) 開会あいさつ

（○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等）

本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。本日は、我々が2年半に渡ってまとめた、まちづくり提案書を市に提出するためにまちづくり提案書（案）を作成したので、その説明をさせていただく。内容について、後ほどご意見を伺いたい。

（まちづくり協議会 会長）

（まちづくり協議会のメンバーから自己紹介）

(2) 分倍河原駅周辺地区のまちづくり提案書（案）の説明

・まちづくり提案書（案）について協議会員より説明があった。

(3) 意見交換

○以前分倍河原に住んでおり、一時離れたが最近戻ってきた。市内でも府中駅や中河原駅等が変わっているのに、分倍河原駅は50年間全く変わっていない。分倍河原駅が変わっていない要因は何か。

⇒分倍河原駅の駅舎そのものは京王が持っていると聞いている。駅舎の問題は以前からあったが、変える動機がなかったのだと思う。分倍河原固有の条件と、周辺の変化に対応

したまちづくりができるのと良いと思っている。(協議会員)

○なぜこれまで駅舎が変わらなかったのかを認識することで、変化できなかったことが繰り返されないと思う。最近の分倍河原駅周辺での変化を教えてほしい。

⇒商店街の店舗の変化がある。生鮮商品を扱う店舗が飲食店へと変化している。(協議会員)

⇒まちづくり提案書(案)の5ページに、平成8年以降に主に整備されたもの等が書かれている。また、大きくはミナノが出来たことがある。(コンサルタント)

○日鋼町のインテリジェントパークも、分倍河原駅からの動線となっていると思う。その人たちが、分倍河原を使いたいと思うような提案がまちづくり提案書(案)に書かれているか。

⇒まちづくり提案書(案)には、にぎわい創出の一般論を書いている。(協議会員)

○分倍河原には崖線があるが、この特異な地形をどう活かしてまちづくりをしていくのか。

⇒まちづくり提案書(案)の38、39ページ及び45ページに高低差処理に対するアイディアの写真やイラストがあるが、京王線を高架化する、南武線を地下化にするという提案は、旧協議会でも出ていた。今回の協議会では、鉄道事業者としては高架化も地下化も考えていないという話があり、それを前提に考えている。高架化や地下化は将来的にはあるかもしれないが、現在の状況でどのようにしていくかを考えなければならない。崖線は分倍河原の大きな課題なので、旧協議会でも大倉山や武蔵小杉、登戸を見学している。(協議会員)

○45ページのイラストを描いた者である。京王線も本数が増え、旧甲州街道が開かずの踏切となっている。南武線も分梅通りの交通渋滞が見られる。市、JR、京王には一肌脱いでいただき、高架化、地下化を検討してほしい。交通事故等が発生した場合、緊急車両も通行できないことが考えられる。京王線を高架にする際も、ミナノ西側の京王線の法面をコンクリートにして、中に駐輪場を入れてほしい。南武線は現在6両編成だが、地下化することで10両編成も可能になると思う。また、地下化することで分倍河原の特徴である崖線を緑化することや、遊歩道を整備することができる。まちが成長する過程には、高架化、地下化は必要であると思う。

⇒駅舎の改良の根本には、交通戦略で示しているスケジュールにあるように、10年で改良しようという思惑があり、市長も公約で分倍河原駅の整備を掲げている。また、高架化、地下化は中央自動車道等の周辺構造からも厳しいと聞いている。駅舎も3.11の際、駅舎の内外に人が溢れていた。まずは、10年という期間の中で、京王線の東側と西側の駅前に広場空間を設け、駅の南側にも空間を設けて欲しいと考えている。先ほどの意見をすべて盛り込むと50年はかかってしまう。今後10年でできることをまずはやっていきたい。

多磨駅の改良も始まることから、市内の駅で分倍河原だけ取り残された状況となっている。先ほどの質問にもあったが、分倍河原駅の整備がこれまでされなかった理由に、崖線やJR、京王が交差していることもあると思う。(協議会員)

○分梅通りを自転車で走行していると、車とぶつかりそうになり危ない。一方通行にして歩道と自転車専用道をつくってほしい。個人的には、街路樹は府中市らしさであると思

っているのではなくさないでほしい。また、段差をなくしと書いているが、段差等で歩行空間と自動車空間は分けた方がよい。

⇒今のような議論は、今回でなく、まちづくり提案書を提出した後の実施案の段階で具体的な議論をしたいと思うが、そのような意見も是非出してほしい。しかし、利害関係があるので、具体的な内容も皆さんと決めていきたいと思う。（協議会員）

○容積率の緩和や最低敷地面積といった話があったが、今後、地区計画等かけるのか。都市計画決定していくのは行政だが、まちづくり協議会の意向を教えてください。また、容積率の緩和や最低敷地面積が定まった場合、商店街で建替えの計画があるのか教えてください。

⇒具体的な範囲や、容積率をどの程度緩和するのかについては書いていない。容積率の緩和や最低敷地面積は個人的には有効だと思っているが、まちづくり提案書（案）には手法の1つとして載せている。また、駅周辺の高度利用も書いているが、範囲は書いていない。協議会としても手法について勉強したいが、協議会も今後続くか分からないので、継続する場合は、そのようなことも皆さまと検討していかなければならない。また、商店街のルールを決めるのは大変なことで、共栄会がどの程度自分のこととして考えられるかだと思う。（協議会員）

⇒京王線の西側は第一種低層住居専用地域となっている。駅舎の出入口が西側にもできるとなると、用途地域を変更すること等も課題として残っている。（協議会員）

○旧甲州街道の歩道の段差をなくすのは危ないと思う。自転車と歩行者の接触も多いので、歩行者の安全をどのように確保するかを考えてほしい。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。まちづくり提案書（案）の20ページに、「段差をなくし」と書いてあるので、最終的にどうしていくか、協議会で考えていきたい。（協議会員）

○まちづくり提案書をまとめ、市に提出したあとの大まかなスケジュールを教えてください。

⇒まちづくりニュース第6号と一緒に、府中市都市・地域交通戦略の概要版を配布しており、その中に粗々のスケジュールが書かれている。例えば東西自由通路整備については、平成34年までには主に調査・設計・用地取得等を行い、その後整備に入るとなっており、市からこのようなスケジュールが出たのは初めてである。ただ、用地取得は関係権利者の意向等もあるので、その時の場合にもよる。（協議会員）

⇒まちづくり提案書の作成と並行して、市で府中市都市・地域交通戦略を策定し、その中に協議会での提案の多くが盛り込まれている。（コンサルタント）

○平成28年にまちづくりニュースの第1号を見て、協議会があることを知った。また、まちを歩いていたら、三菱銀行の前の掲示板にポスターが貼られておりこの説明会を知った。皆さまが自由に発言していただき、協議会で意見をまとめていただきたいと思っている。

○駅北側に住んでいる主婦層は、駅北側にもスーパーが欲しいと思っている。

○分倍河原駅は府中市内の駅の中で、最も乗降客数の多い駅でありながら、駅舎が狭いことから、駅舎を安全にしてほしいと思っている。理想は、高架化や地下化だが、当面できることから取り組んでほしい。

- このような、地区の皆さまとの集まりが年に数回あると良い。ふいに集まるのではなく、事前に日程を決めていただくと集まりやすい。
- 今回の説明会のお知らせは、半月程度前に、町内の回覧板にて周知している。
- ⇒このような説明会は初めての試みだったので、周知に至らないところもあったかもしれないが、皆さまの関心が高いということが分かった。（コンサルタント）
- ⇒今回、こんなに大勢の人が来ていただけたとは思っていなかった。府中市は住みやすく良いところである。自分の住んでいる所が少しでも良くなる提案を、市民から市にできればと思っている。ミナノの前の緑道は用水となっているが、全て暗渠となってしまうので、それを全て開渠にすることで、普段の生活の中で、水の音が聞こえたり、生物がいたりということを感じられれば良いと思っている。（協議会員）
- ⇒まちづくり提案書は一つの到達点と思っている。まちづくり提案書が提出されれば、議会にも諮られると思う。商業の話は、47ページの意見にも書かれているとおり、商業調整会議を行っていきたいと思っている。まちづくり提案書への反映としては、にぎわい検討部会との関係も整理しながら、今後組織のあり方を検討していきます、となっている。駅北側にスーパーが欲しいといった意見もあったが、ミナノが商店街でサテライトをやるといった様々なアイデアが考えられると思う。（協議会員）

(4) 閉会

- 今回の皆さまの意見の中には共栄会に対する希望もあった。後継者がいなくなり、個人で商店を営むことができなくなったことから、物品の販売が減っている。不動産業を営んでいることから、なるべく現在の商店街にない店舗が入ってほしいと思っているが難しい。時代の流れも踏まえながら、今後、市や鉄道事業者の協力を得て進めていきたい。（まちづくり協議会 副会長）

以上